

# 令和6年度 横浜国立大学校友会事業活動計画

## 1. 入学時関連事業（新入生向け）【3, 250千円】

入学直後の学生が大学生活にスムーズに溶け込み、有意義な大学生活を送るため以下の事業を実施し支援する。

### ○新入生歓迎会（学生幹事会）

- ・開催日、内容等未定

目的：新会員に校友会活動を紹介するとともに、学部を越えたヨコの交流および学生生活をスムーズに送ることができるきっかけ作りを学生幹事会が主体となっていく。

### ○新入生懇親横浜港クルーズ乗船会

- ・校友会・各同窓会合同企画イベントにおける校友会負担分

### ○ノベルティー

- ・2024年4月入学の新規会費納入者用記念品（バインダー）作成経費

### ○学事暦カレンダーの発行（配布用）

- ・新入会員及び在学生向けに学事暦カレンダーを作成、送付（おもに保護者）

## 2. 広報活動事業【2, 250千円】

校友会活動を広く広報するために以下の事業を実施する。

### ○会報誌の発行（29, 000部）

- ・会報誌第10号を発行し、校友会の活動や横浜国立大学の動向などについて情報提供を行う。また、活躍している卒業生や在校生の紹介をとおして会員相互の絆を深める。

### ○入会促進のためのパンフレット

- ・入学手続き案内用校友会・同窓会案内パンフレット作成。入学手続きのweb化により縮小

### ○業務用情報基盤：

## 3. 学生生活の支援事業【9, 504千円】

全学生を対象に、キャリア教育支援や大学生活を彩る様々な活動を支援し、校友会の存在意義や同窓生とのネットワーク構築の大切さを実感して貰うため、以下の事業を実施・支援する。

### ○学生による地域課題実習支援

- ・学生による地域と連携した課題解決プロジェクトを支援する。

2024年度予定プロジェクト数 27 支援費@30,000 支援費単価増額

- ・担当：志村真紀准教授（地域実践教育研究センター）

### ○共催講演会

- ・5学部と校友会が共催し学外から講師を招き講演会を実施（教育学部、経済学部、経営学部、理工学部、都市科学部）

- ・テーマ、講師、日程等は学部が担当する。講師謝金、講演録作成経費の支援

### ○グローバル化と日本人（異文化中心）

- ・キャリア教育支援の一環として、全学年を対象に実施（2単位）。講師謝金、交通費を支援
- ・担当：市村光之教授（高大接続・全学教育推進センター）
- グローバルビジネス実践論（ビジネス中心）
  - ・キャリア教育の一環として開設される、全学部の2年生以上を対象に実施（2単位）。講師謝金、交通費を支援
  - ・各企業の海外勤務者からの体験談をベースに、国の制度や国民性等も含めて実践的な知識を提供。一部、英語の授業も取り入れる。講師・コーディネータに対する謝金、交通費を支援
- 就職支援（卒業生就職先インタビュー調査） 新規事業
  - ・担当：市村光之教授（高大接続・全学教育推進センター）
- 海外留学促進支援
  - ・IELTS対策講座。
- 海外教育交流活動支援
  - ・SXKPプログラムによる協定校学生・教員受入時の交流会、カルチャーツアー経費
- 異文化体験プログラム
  - ・歌舞伎鑑賞、能楽体験、大相撲観戦等を通じて外個人留学生在が日本文化に触れる機会を設ける。
- 日本語スピーチ大会支援
- 留学生就職支援 留学生向け就職セミナー開催 新規事業
- 留学フェア、海外同窓会実施支援 新規事業
  - ・台北。ジャカルタ、ソウル 留学フェア参加費を支援
- スポーツ支援プロジェクト
  - ・成績優秀な部に対し遠征費、物品等の支援及びスポーツ関連施設整備費を支援する。
  - 【参考】2023年度学長表彰：準硬式野球部、陸上競技部、スポーツチャンバラ翔剣会
  - 2023年度施設改修：野球場内外野整備
- 就職支援活動
  - ・大学、校友会、共催で模擬面接会を開催。
- 就職支援セミナー開催経費支援
  - ・マスコミ志望者への情報提供、就活直前に知っておくべき基本的な事項など。
  - ・外部講師によるセミナーを開催。講師謝金
- 「YNU横浜経営者の会」連携講座の開設
  - ・YNU横浜経営者の会構成員を講師とする連携講座。講師謝金。
- 大学祭支援 大学祭実行委員会に対する支援

#### 4. 全会員対象の事業【3,530千円】

YNU同窓生・在学生の横断的活動を支援し、オールYNUとしての一体感を増していくことを目指し、以下の事業を実施・支援する。

- 横国Day事業 大学が主催し、校友会・同窓会は共催。校友会では実施経費を支援
- 学生・OB／OGの交流会 年1回の開催を予定。

- ・在学生（留学生を含む）と若手社会人との情報交換会を実施。就職活動、卒業後の活動等、生きた声を聞ける機会を提供し、相互交流を図る。

○美術館・博物館キャンパスメンバーズ

- ・平成30年度から大学の依頼に基づき校友会が支援 国立科学博物館新規加入希望
- ・国立美術館の利用者数は対前年度比約50%以上増加する見込み。

○SERENDIP継続経費（新規事項）

- ・2021年度期中に導入した書籍ダイジェストサービスの年間契約継続費用のうち校友会負担分

○学生幹事会支援 主催事業の活動費を支援。

## 5. 大学支援事業【11,624千円】

○YNU横浜経営者の会

神奈川を中心に経営基盤を持つ企業経営者とYNU学長、校友会長等による勉強会(年2回開催)

- ・YNUにおける各分野の最先端の研究成果の提供
- ・学生の就職支援活動としての模擬面接会面接官等の派遣を受ける。

○寄附案内冊子の作成

- ・卒業生から好評。寄附金集めの一助となっている。

○横浜国立大学開学75周年記念募金への寄附

## 6. 管理費【6,800千円】

校友会活動の運営のために必要な経費

○事務局諸経費

- ・デジタルサイン維持費、消耗品費、各種手数料、会議費、通信費等

○事務局人件費

- ・事務局職員の人件費

○会員管理費

- ・会員管理システム利用料、会員カード作成

## 7. 予備費【300千円】

以上